

学校図書館総合研究所の歩み

現場と共に歩む研究のあり方を模索して

何を目指し、何を行おうとしているのか？ 弱小民間研究所の挑戦と希望とは？

お金もない、時間もない、人手もない…。それでも弱小民間研究所を立ち上げたのは、学校図書館こそが民主主義社会の礎であり、自由で責任ある個人を育てる場と信じているから。立ち上がったのは人の有志のため。設立趣意書を作成し、規約をつくりあげていく過程で、それぞれの思いがぶつかりあひながら、研究所の構想は具体的な形を見えてきました。中でも、「すでに学校図書館の研究団体はたくさんある中で、なぜあえて立ち上げるのか」という議論が、研究所の方向を示すことになりました。

活動のあゆみ～設立から事業の展開～

- 設立 2016年4月に、学校図書館の共同研究を行っていた仲間6人と学校図書館総合研究所(SLORI)を設立。設立趣意書参照
- 事業 学校図書館の実践に役立つための事業として学校図書館フェスティバルを開催。2017年度からは子どもゆめ基金助成事業として開催。ちらし参照
- 研究 研究会を年4回開催

電子ジャーナル「学校図書館総合研究所年報」の刊行
*学校図書館が変わるのは現場の担当者の方の尽力によしかありません。その実践を少しでも支えることができればと活動をしています。メンバーは様々な研究を行っており、多様な問題解決の場へ貢献できる体制づくりが課題です。

- 研究会での発表題目(2016年度以降)
- 「みづから日本の傾向について」
- 学力論と学校図書館 コンビニシーベースの学力論への批判的考察として
- 「学校司書」現職者の研修ニーズ把握と大学教育への展開に関する基礎研究
- 2016ASL東京大会レポート
- 愛知県立学校図書館シリーズ 豊川市の学校図書館
- 公共図書館による学校図書館支援
- 愛知の学校図書館 新築・改修事例についての紹介
- 更生保護施設入居者と本図書館サービスの可能性
- PFIの図書館への適用に関する考察

in Nagoya
学校図書館フェスティバル

2017年10月28日(土) 12:00-17:00
会場: 名古屋市立中央図書館

今年も「学び」の場を創ります。学校図書館の魅力を発信し、交流の場を創ります。また、学校図書館の現状や課題について、専門家による講演やパネルディスカッションを行います。

★特別講演★
学校図書館の未来を語る

★特別講演★
学校図書館の現状と課題

★特別講演★
学校図書館の役割と使命

2017学校図書館フェスティバル
来賓ごともにご覧下さい

講演者: 木幡 洋子、江良 友子、伊藤 真理、木幡 智子、杉浦 良二、服部 繁彦、小林 達也、久野 和子、岩本 秀利

講演題目: 学校図書館の未来を語る、学校図書館の現状と課題、学校図書館の役割と使命、学校図書館の魅力を発信する、学校図書館の現状と課題、学校図書館の役割と使命、学校図書館の魅力を発信する

木幡 洋子
このた ようこ

研究員、司書、2016年度まで勤務。その経験を活かし、学校図書館の現状と課題について、専門家による講演やパネルディスカッションを行います。

江良 友子
えら ともこ

研究員、司書、2016年度まで勤務。その経験を活かし、学校図書館の現状と課題について、専門家による講演やパネルディスカッションを行います。

伊藤 真理
いとう まり

研究員、司書、2016年度まで勤務。その経験を活かし、学校図書館の現状と課題について、専門家による講演やパネルディスカッションを行います。

木幡 智子
このた ちとこ

研究員、司書、2016年度まで勤務。その経験を活かし、学校図書館の現状と課題について、専門家による講演やパネルディスカッションを行います。

杉浦 良二
すぎら りょうじ

研究員、司書、2016年度まで勤務。その経験を活かし、学校図書館の現状と課題について、専門家による講演やパネルディスカッションを行います。

服部 繁彦
はっとり しげのぶ

研究員、司書、2016年度まで勤務。その経験を活かし、学校図書館の現状と課題について、専門家による講演やパネルディスカッションを行います。

小林 達也
こばやし たつや

研究員、司書、2016年度まで勤務。その経験を活かし、学校図書館の現状と課題について、専門家による講演やパネルディスカッションを行います。

久野 和子
くの かずこ

研究員、司書、2016年度まで勤務。その経験を活かし、学校図書館の現状と課題について、専門家による講演やパネルディスカッションを行います。

岩本 秀利
いわたもと しりし

研究員、司書、2016年度まで勤務。その経験を活かし、学校図書館の現状と課題について、専門家による講演やパネルディスカッションを行います。